

一般社団法人 日本医療機器学会
2023年度 第3回理事会 議事録

日 時：2023年12月22日（金）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2F セミナーホール（東京都文京区本郷3-39-15）
（会場+WEBの併用開催）

出席者：高階 雅紀理事長、林 正晃副理事長

青木 郁香、東 竜一郎、市橋 友子、植竹 茂、白杵 尚志、江島 豊、
加藤 伸彦、川本 武、久保田 英雄、小西 賢三、住谷 昌彦、中島 章夫、
中野 壮陸、長瀬 清、根本 裕司、深柄 和彦、福田 修一、松原 一郎、南 正人、
美代 賢吾、根木 潤、安原 洋、山浦 健の各理事
新 秀直、本田 宏志の監事

事務局：岩田 誠、池野谷 崇臣、桑原 祐子、寺嶋 秀之

定足数と出席理事の確認：定款第36条により理事25名の内過半数の25名が出席、
本理事会は有効に成立する旨の報告があった。（事務局）

1. 開会宣言及び前回議事録の確認と議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会（会場・Web併用会議）を宣した。

- 1) 議長より、2023年度第2回議事録の内容確認の要請があり、出席者全員により確認された。
- 2) 議長より、議事録署名人は定款37条により理事長及び本日出席の新監事、本田監事を指名する旨の報告があり、出席者全員により確認された。

2. 2024・2025年度代議員選挙の結果について（林選挙管理委員長・副理事長）

選挙管理委員長より、2023年度第3回理事会議案資料（以下、「資料」）に基づき、2024・2025年度の代議員選挙結果について、S系93名、C系46名、合計139名の立候補者が定数内（150名上限）で全員当選（無投票当選）したことが報告され、出席者全員これを了承した。

3. 委員会報告

1) 総務委員会（林委員長）

(1) 会員数推移（入会者の承認・退会者の確認）

委員長より、資料（名簿別添）に基づき会員数の推移について報告があり、本日現在の会員数は、名誉会員8名、功労会員1名、正会員6,010名、企業会員288社。前年同期比で名誉会員1名増、功労会員1名増、正会員169名した減少、企業会員3名減少した旨の報告があり、出席者全員これを承認した。

事務局より、前回理事会で質問があった会員退会の内容検討については、期の途中で比較が難しいため、2024年度第1回理事会で2022年度と2023年度の比較

結果を報告する。

- (2) 個人正会員の入会について（推薦者なし、個別承認分）
委員長より、推薦者及び推薦無し新規個人正会員 2 名の入会申込みがあり、審議した結果、個人会員としての入会を出席者一同承認した。
- (3) 協賛・後援・共催依頼先（承諾先の確認）
協賛・後援・共催依頼実績は、資料に基づき、協賛依頼 5 件、後援依頼 9 件、共催依頼 0 件と報告され、既存実績先 14 件・新規 0 件について出席者一同これを追認した。
- (4) 研究・開発助成制度の募集及び選考委員会の委嘱
委員長より資料に基づき、研究・開発助成制度の募集（第 93 巻 6 号に掲載）及び選考委員会を学術委員会手へ委嘱することを出席者一同異議なくこれを承認した。
- (5) 褒賞規程に基づく功績賞・技術賞・技術奨励賞の募集について
委員長より資料に基づき、功績賞・技術賞・技術奨励賞の募集（第 93 巻 6 号に掲載）についての説明があった。功績賞は総務委員会へ、技術賞・技術奨励賞は学術委員会へ委嘱することを出席者一同異議なくこれを承認した。
- (6) 褒賞規程に基づく論文賞・著述賞の選考委員会の委嘱
委員長より資料に基づき、論文賞・著述賞の選考委員会を編集委員会へ委嘱することを出席者一同異議なくこれを承認した。
- (7) 海外渡航費補助規定改定について
委員長より、資料に基づき海外渡航規定改定について総務委員会でまず議論した内容について説明があり、次回の理事会で規程改訂を上程し承認を得るスケジュールで準備を進めている旨の報告があった。
議論の中で、全会員を渡航補助支給の対象としながらも、海外渡航の回数制限を設けない意味合いが不明確ではないかとの質問があった。前回理事会で総務委員会からの報告では、学会と海外の学会（AAMI・WHFSS 等）が単に交流するのみならず互いのステイタスを向上させるビジネスミーティングを開催するなど、今後キーパーソンになる人について渡航回数制限を決めてしまうとそれは意味のないことになり、また広く公募対象者全てに対して渡航補助することは難しいので、それは委員会内で選定し決めることではなかったのかとの方針を再確認する意見があった。渡航補助の主旨は、委員会レベル・個人レベルで決めるということではなく、まずは学会全体として派遣基準を統一する必要があるのではないか、渡航補助だけではなく現実的に予算面からも考慮すべきではないか、また、当学会の国際的な学会・学術的交流について、当学会の方針・考え方がまずありきで、本来そこから規程に落とし込むべきものなので、上流部分をまず学会として確り決定することが必要ではないか等の意見が出された。規程を分けるかどうかは別として 2 つの議論（指定型・公募型）があり分けて考えるのが良いのではないかということについては、今回の海外渡航費補助については、公募型は想定（実績無し）していないので除外して議論すると総務委員会から回答があった。確認されたことは、今回の議論の中での海外渡航規程改訂については、公募型は除いて考えることとし、本日の意見等を参考に次回の総務委員会で纏めた海外渡航規程改定（案）を次の理事会で提出することを出席者一同確認した。
- (8) 都築先生ご逝去のこと（深柄理事）

当学会に多大な貢献をされ、大変お世話になった都築先生が2023年8月にご逝去された報告があり、出席者一同黙とうを捧げた。

2) 将来構想委員会（深柄委員長）

委員長より、委員会を2023年12月4日(月)にWeb開催した旨報告があった。

3) 編集委員会（住谷委員長）

(1) 2023年度論文賞の選考および著述賞の募集・選考について

委員長より、資料に基づき、2023年度論文賞の選考については、選考委員会で候補者を絞り選考していくこと、また、著述賞の募集・選考については推薦依頼を促すよう依頼がなされた。

4) 学術委員会（安原委員長）

委員長より、日本医学会連合令和3年度研究助成に当学会として研究費を申請、その結果は、厚労科研の成果を公表する厚労省HPに掲載されており、また当学会としては、同内容を2023年10月号学会誌に論文として発表している。今般、厚労科研が令和5年度に延長が認められ、現在大急ぎで「新型コロナウイルス感染症パンデミックが他疾患を有する患者の診療に与える影響の背景因子分析」の追加アンケート調査を行うべく準備を進めている。それに際して、医療機器学に投稿した論文は通常J-STAGEで1年後でないと公表されないが、アンケート調査を実施するに当たり、同論文の学会HPでの公表を早期に公開することを認めて貰いたい旨要請がなされ、出席者者一同これを承認した。

(1) 安全対策委員会（南委員長）

委員長より、2024年2月24日(土)に第21回医療機器安全対策研究会を福井大学小久保先生に依頼し、会場は福井県民ホール(アオッサ 8F)で実施する旨報告がなされた。

(2) クリニカルエンジニアリング委員会（廣瀬委員長代理、中島委員）

中島委員より、2023年6月24日(土)及び11月11日(土)(Web)に実施した旨報告がなされた。

【臨床ME専門認定士合同認定委員会】（廣瀬委員長代理、中島委員）

中島委員より、実践ME技術講習会(第24回臨床ME専門認定士認定更新講習会)を2023年10月29日(日)～11月19日(日)にWEB(261名参加)で開催した旨の報告がなされた。また臨床ME専門認定士の登録更新に関して、合同委員会で審議・改定された内容は、5年毎の更新4回行った後、5回目の更新申請時にゴールドカードを発行することになった旨報告があった。

(3) 機器と感染カンファレンス委員会（長瀬委員長）

委員長より、2024年3月(熊本)と7月(松山)に機器と感染カンファレンスを開催する予定との報告がなされた。

(4) 病院サプライ研究会（久保田委員長）

委員長より、第27回病院サプライカンファレンスを2023年11月3日(金)に開催し現地参加52名、WEB参加271名、出展企業8社であった報告とトレサビリティ白書については年度内に纏める予定である旨報告がなされた。

5) 滅菌技士認定委員会（高階委員長）

(1) 2023 年度第 24 回第 2 種滅菌技士認定講習会申込結果

委員長より、第 24 回第 2 種滅菌技士認定講習会を 12 月 16 日(土)(横浜)、11 月 16 日(木)～30 日(木)(Web)で、第 21 回第 1 種滅菌技師認定講習会を 12 月 15 日(金)～16 日(土)(横浜)で実施した旨報告がなされた。

(2) WFHSS2023

委員長より、WFHSS について、同組織、構成員（世界各国の滅菌供給に関する学術団体が構成員）、および当学会としての WFHSS での活動内容（総会に参加・議決権行使等）についての説明がなされた。2024 年の開催地はチリ、2025 年は香港。今回 WFHSS 総会での一番の議論・決定事項は、滅菌技師の国際認定資格を策定すること。一般的に欧州各国の滅菌に関する資格は、Technician, Super Technician, Manager の 3 段階（当学会の資格は 1 種と 2 種の 2 つ）であり、WFHSS 認定の国際的な滅菌技師統一規格を策定していくべく、それを実現する為に充実した座学を WEB で作成しそれに余剰資金を使用していくことが決議された旨報告がなされた。

他の理事からは、WFHSS は欧州団体だが米国にも同様な団体もあるので、当学会が今後 WFHSS との関係性や WFHSS の更なる情報開示の要求がなされた。

(3) 国立医薬品食品衛生研究所からの協力要請

委員長より、同研究所が国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の 2024 年度「医薬品等規制調和・評価研究事業」に係る研究開発課題の公募を行い、採択された際に当学会が同研究所と連携して研究遂行に協力するとの報告がなされた。

6) 広報委員会（久保田委員長）

委員長より、学会パンフレットに掲載する写真についての報告がなされた。

7) 国際委員会（青木委員長）

委員長より、2023 年度の AAMI 訪問について滅菌洗浄教育セッションを実施したこと、また AAMI より 2024 年度も同様に教育セッションの実施依頼を受けている旨報告がなされた(テーマは現状未定)。

前回の理事会で、2023 年度 AAMI の参加対象者をどの様に決めたのかという選考基準について、今回の理事会で委員長より回答することとなっていたが、国際委員長から明確な回答が得られず、次回理事会で改めて委員長よりわかり易く文章に纏めて説明されることとした。

【ISO/TC198 国内対策委員会】（東委員長）

特に報告なし。

8) 医療機器 UDI 標準化委員会（酒井委員長代理 久保田委員）

(1) UDI 法制化について

久保田委員より、2024 年度の薬機法改正に関連して医療材料、鋼製器具等個包装へのバーコード表示・ダイレクトマーキング等を推進しており厚労省と意見調整している報告、また平行して医療業界全体としての調整も推進するとの報告がなされた。

9) MDIC 認定委員会（臼杵委員長）

- (1) 委員長より、第 16 回認定セミナー・検定試験の状況報告、ならびに令和 5 年度更新ポイントセミナーを 2024 年 3 月 8 日(金)に会場と WEB での開催予定との報告がなされた。
- (2) 委員長より、MDIC ポイント付与に関する日本医療機器販売業協会との改訂覚書の説明がなされた。また、他学会が開催する講習会への MDIC 認定更新ポイント付与条件の明確化について現在検討中との説明がなされ、次回 MDIC 認定委員会で文章化を図り次回理事会で承認を得たい旨の報告がなされた。

10) 事業体部会（松原部会長）

部会長より、第 99 回大会併設機器展示メディカルショー2024 の流れの確認や企画の取り纏め作業を進めているとの報告がなされた。

11) 関係団体

- (1) (一財) 日本医科器械資料保存協会（事務局）

特に報告なし

- (2) 日本医学会

- ・評議員（担当 高階理事）
- ・連絡委員（担当 南理事）
- ・用語委員（担当 深柄理事）
- ・用語代委員（担当 住谷理事）

特に報告なし

- (3) 日本臨床検査標準協議会 理事（高階理事長）

特に報告なし

- (4) (公財) 医療機器センター 理事（高階理事長）

特に報告なし

12) 財務委員会（福田委員長）

- (1) 2023 年 4 月 1 日～9 月 30 日の収支及び予算状況

委員長より、資料に基づき期首予算対比 4 月～9 月の実績推移について説明あり、今年度の予算進捗また前年同期実績と比較して特段報告する内容は無かった旨報告がなされた。

13) 利益相反委員会（安原委員長）

- (1) 例年通り、2023 年分(2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日)の COI 自己申告書を 2024 年 1 月末に事務局から案内がなされるので提出期限である 2 月末までに提出して欲しい旨依頼がなされた。

14) 倫理委員会（山浦委員長）

特に報告なし

15) 滅菌管理業務検討委員会（深柄委員長）

- (1) 2023 年度第 4 回滅菌管理業務検討委員会

委員長より、資料に基づき 2023 年 12 月 2 日(土)に 2023 年度第 4 回滅菌管理業務検討委員会を開催、今後の活動、評価ツールの普及、教育ツール(中級編)、全国中材研との連携強化等について活発に活動している旨報告があっ

た。

16) 100周年記念事業実行委員会（安原委員長、住谷理事、事務局）

(1) 記念式典・祝賀会収支報告

委員長より、記念式典・祝賀会の全体報告とまた事務局より資料に基づき記念式典についての収支報告がなされた。

(2) 100周年記念誌について

理事より、100周年記念誌については2023年12月25日発刊予定となっていたが座談会がまだ終了していないこともあり、発刊は今期3月までの予定とする旨報告がなされた。

4. 今後の学会大会開催予定について

1) 第98回大会収支報告（確定）（事務局）

事務局より、資料に基づき報告があり学術参加者が予定よりも増えたことや企業セミナーも盛況であったこと、また併設展示についても盛況で共に収益はプラスとなった旨報告があった。

2) 第99回大会（2024年6月20日～6月22日：パシフィコ横浜）（林大会長・事務局）

(1) プログラム準備状況等

大会長より、第99回大会の進捗状況について説明があり、学術については大会テーマとなっているマネジメント・DXについてアイデア検討を進めている。またメディカルショーにおいては、従前の展示に無かった特別企画を検討している旨報告がなされた。

(2) 大会収支予算について

事務局より、資料に基づき現状の大会収支予算説明があり、出席者一同確認した。

3) 第100回大会（2025年6月12日～14日：パシフィコ横浜）（加藤大会長）

特に報告なし。

4) 第101回大会 大会長について（高階理事長）

開催場所については、現時点では未確定である旨説明があった。

5. 閉会宣言（理事長）

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が17時30分閉会宣言をした。

6. その他事務連絡など

1) 事業報告・事業計画の提出について（事務局）

各委員長・部会長に対し2022年度事業報告(案)及び2023年度事業計画(案)を2024年2月9日(金)までに提出するよう依頼(案内メールは2024年1月9日頃送付予定)がなされ、出席者一同これを了承した。

2) 次回以降の理事会および総会の予定

(1) 2023年度第4回理事会開催日時：2024年3月29日（金） 15：00～17：00

場所：医科器械会館 2F セミナーホール

(2) 2024年度第1回理事会開催日時：2023年4月19日(金) 15:00~17:00

場所：医科器械会館 2F セミナーホール

(3) 2024年(2023年度決算)定時総会：2024年6月20日(木) 16:30~17:30

場所：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1F シルク

以上

(議事録署名)

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事2名がこれを署名する。

2023年12月22日

議事録署名人

(高階 雅紀 理事長)

議事録署名人

(新 秀直 監事)

議事録署名人

(本田 宏志 監事)